

学生の皆さんへ

ITエンジニアとして働きながら感じるのは、「コンピュータの特性を理解し、うまく対話すること」がシステムをつくる上で大切だということです。

コンピュータとの対話という点、「プログラミング言語を学ぶこと」を真つ先に想像するかもしれませんが、それは二の次でよいと思います。コンピュータは大変賢いですが、

人間の伝え方（入力）が少しでもあまいだと、そつぽを向いてしまったり突拍子のない返事をしてきたりします。

まずは物事を論理的に考え、誤解のない伝え方を組み立てる必要があるし、それができていればドンピシャのプログラムを書くことができるでしょう。

私の場合は、受験勉強、特に英語と国語の学習の中で得た考え方や習慣が、大きく生かされていると考えています。

「受験勉強は、社会では何の役にも立たない」——

進路によってはその通りかもしれませんが、

ただ、学生時代の勉強の中で鍛錬される思考力は、大学でも社会でも、皆さんを大いに助けてくれるし、

ステップアップするための踏切板になってくれると思います。苦手分野で壁にぶつかっても、

考え方を磨くのだと前向きに捉え、励んでほしいと思います。

大学を卒業後「手に職をつけて働きつつ、社会のインフラを陰で支える仕事がしたい」と思い、2018年に金融系のシステム開発を主力とするIT企業に就職。

現在はシステムエンジニアとして保険代理店向けシステムの導入に携わっています。

保険や代理店の仕事についての知識がないと、お客様の困っていること、解決したいことを汲み取ることができませんし、信頼関係もなかなか構築できません。また、知識を身に着けてお客様の「やりたいこと」を聞き取ることができても、今度は何の技術を使い、どのような設計をするかを判断できないと、システムをつくることができません。

保険とIT、両方を日々コツコツと勉強しながら鋭意努力しています。

「学志舎での思い出」

学志舎との出会いは小5の時でした。最終大学受験までお世話になりました。高3の大晦日、翌年に受験する同学年の有志とともに学志舎に集合して、年越し勉強会を勝手に敢行。戦友とともに新年を迎えて士気を高めた後、残すは神頼みだということで、みんなで伊奈波神社に初詣に行ったことが、印象深い思い出です。マンツーマンをご担当いただいた松元コーチには、英数の記述対策をみっちりと教えていただきました。高3では生徒会長を務め、学校祭間近には2週間も塾に行かず学校祭成功の為に奔走し、指導を何度かスキップしてもらうなど、多大なご迷惑をおかけしました。にもかかわらず、勉学も学校生活も同じくらい応援していただいたおかげで、その後思いきり受験勉強に打ち込むことができました。



新年、仲間と共に合格を誓う

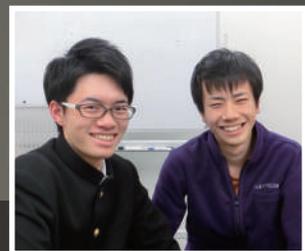
「卒塾生 学志舎で語る」 vol.8

卒塾生 川村 紘太郎 大阪大学 人間科学部卒

力を何%出せたのか？ 自分で採点する。

点数よりも、大切なものだと教えています。

学志舎では教師のことを「先生」ではなく「コーチ」と呼びます。「コーチ (coach)」とは「馬車」の意。ひいては「大切な人を、その目的地まで送り届ける」という意となります。



川村君と松元コーチ

紘太郎君は、中途半端なことはせず決めたことは最後まで貫き通す子でした。彼は高校では生徒会長として活動していましたが、文化祭の準備に集中するために受験勉強を一旦休憩したいということもありました。大事な時期にどうすることが彼のためになるのか迷いましたが、彼なら文化祭後にその集中力を受験勉強に向けられると信じました。結果、大学受験の合格を勝ち取ることができました。紘太郎君は、意志の強さの大切さを身を持って教えてくれました。今は、さらに素敵な人になっていることだと思います。今後のご活躍を期待しています。

担当コーチ 松元宗一郎 (現在 救急専門医)



学志舎

智をつけよ そして人の為に活かせ



築100年の古民家



1F 小中学生教室



2F 高校教室

〒500-8085 岐阜市白木町92番地
【お問い合わせ】平日10:00～21:00

☎ 058-265-4562



<https://gakushisha.com/>

学志舎

検索